

第37回 寒地土木研究所講演会 Web 配信(収録版)

ご視聴のみなさまへ



国立研究開発法人土木研究所 寒地土木研究所
所長 竹内 正信

寒地土木研究所講演会は、積雪寒冷地に関する土木技術の研究成果についてより多くの方々に紹介することを目的に毎年開催しており、今年で37回目を迎えました。

今年度は、11月9日に札幌市の「かでの2・7」において、329名もの方に参加していただき、無事盛大に開催することができました。併せて講演会場に隣接するホールにおいて研究・開発技術を紹介するパネル展示を行い、こちらも多くの方に来場していただきました。

当日ご都合が付かなかった方、あるいは遠方である等の理由により会場にお越しいただけなかった方等がいるだろうことから、今般、講演を録画・編集した動画を配信することとしました。

今回の外部講演は、東北大学大学院工学研究院教授であり、また、同大学インフラマネジメントセンター長でもあります久田真先生にお引き受け頂き、「誰一人取り残さない well-being な社会を目指して」～建設分野における地域の課題と解決への糸口～と題してご講演をいただきました。

久田先生からは、近年における、デジタルトランスフォーメーション(DX)、グリーントランスフォーメーション(GX)などの取組みが加速している状況の中、インフラを支える人口の急激な減少やそれらの地域格差、建設分野での担い手不足をはじめ、大規模自然災害やインフラ老朽化への対応の遅れなどが懸念されていることを踏まえ、2023年から開始されたSIP第3期「スマートインフラマネジメント」の概要や、インフラ分野における地域の課題と解決への糸口について紹介していただきました。

また、寒地土木研究所の研究、技術開発を広く知っていただくために、当研究所の寒地河川チーム、寒地機械技術チーム、土木研究所構造物メンテナンス研究センターから講演を行いました。

録画版のWeb配信を通じて、行政や建設関連企業等で活躍されている技術者の皆様の技術力向上や、土木技術の発展、建設事業の推進、効率化等に少しでもお役に立てることを祈念いたしまして Web 配信に際してのご挨拶とさせていただきます。